

区政 Now ! (27年6月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

い
ま
ご
こ
ろ



このたび、東京23区長で構成される特別区長会において、特別区長会会長に再任され、3期目を務めさせていただくこととなりました。

特別区長会では、区民生活の更なる向上のため、23区の協働事業を実施する他、各区の意見を取りまとめて、東京都や国に対して要望・要請を行うなど、区政に密接に関わる取組を行っております。23区には、2020年東京オリンピック・パラリンピックの準備や都が所管している児童相談所の区への移管に向けた都区協議、首都直下地震への対策など課題が山積しております。特別区長会会長として、23区の各区長が持つ個々の人脈を大きな力として結集させ、共通課題の解決に引き続き全力を注いでまいります。

今後とも、荒川区並びに23区の更なる発展のため、先頭に立って取組を進めてまいりますので、皆様の御理解・御協力をお願いいたします。

● 「東北六魂祭2015秋田」の開催を支援しました

- ◇ 5月30日、31日に、秋田県秋田市で東北六魂祭が開催されました。
- ◇ 東北六魂祭は、東日本大震災からの復興と鎮魂、東北の地域振興を発信するため、東北6県の県庁所在都市6市（秋田市、青森市、盛岡市、山形市、仙台市、福島市）が主催しているお祭りです。
- ◇ 特別区長会では、全国の各地域との新たな連携を模索し、東京を含めた各地域の経済の活性化、まちの元気につながるような取組として「特別区全国連携プロジェクト」を展開しております。今回はその一環として、東日本大震災からの復興を目指す象徴的な取組である東北六魂祭に対し、特別区長会として支援・協力をを行い、復興を支援するとともに、東北6県の自治体との連携・協力関係を強化してまいりました。



東北六魂祭のステージの様子



プレゼントされた提灯を掲げる様子

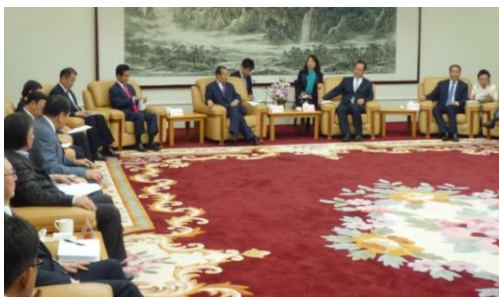
主
な
事
業

● 「子育て女性のおしごと相談デスク」を開設しました

- ◇ 6月2日からセンターまちや3階に、子育て中の女性を対象者として、再就職活動へ不安を抱えた方をサポートするための相談窓口である「子育て女性のおしごと相談デスク」を設置しました。
- ◇ 相談内容については、「おしごと相談」と「社会保険・税金等相談」の2区分に分けられ、それぞれ専門のキャリアカウンセラーと社会保険労務士がご相談にお答えします。また、マザーズハローワーク日暮里と連携し、「子育て女性のおしごと相談デスク」でのサポートを行った後に、就労・就職支援に繋げてまいります。
- ◇ 今後とも、子育て中の女性はもちろんのこと、若年者や高齢者など各世代層へ向けて、それぞれのニーズに応えられるようサポートを行い、より一層の就労促進に努めてまいります。

● 友好都市である中国・大連市を訪問しました

- ◇ 区では、平成18年3月から大連市中山区と友好都市提携を結び、区民ツアーや区職員の短期留学などの取組を行っており、また、日暮里コレクションでは、大連市中山区からモデルを招き、「大連コレクション in 日暮里」としてファッションショーを行うなどの交流を行っています。
- ◇ この度、大連市とのさらなる交流に向け、5月24日に大連市を訪問し、中国共産党大連市委員会書記・唐軍氏や大連市人民政府市長・肖盛峰氏らと今後の交流について、面会をしました。
- ◇ 今後とも、世界に開かれたまちとして、区の魅力や活力を高める交流や事業を推進してまい



大連人民政府との面会の様子



歓迎レセプションの様子

ります。

● 地域の力を活かした子どもの居場所づくり事業を開始しました

- ◇ 主に、ひとり親家庭や生活困窮世帯などの支援を要する家庭の子どもの生活習慣や学習意欲等の向上を図るため、子どもたちに、だんらんの場や食事の提供、学習支援等の事業を実施している団体に対して、運営費を補助する事業を開始します。
- ◇ これにより地域の力を活かし、学習支援を含めた子どもの居場所づくりを進め、児童福祉の向上と子育て支援の充実を図り、子どもの自立を促進してまいります。
- ◇ 今後とも、基礎自治体として、子どもの貧困に関する課題の対応に努め、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備を図ってまいります。

● 第7回あらかわバラの市が開催されました

- ◇ 5月16日、「第7回あらかわバラの市」が町屋駅周辺で開催され、約6000人が来場しました。
- ◇ 今年で7回目を迎えたバラの市ですが、開催するたびに人気を集め、区内のみならず区外からも多くの方が来場され、初夏のイベントとしてすっかり定着しています。



バラを販売する様子

- ◇ 区では、このバラの市の他にも都電沿線のバラの植栽による緑化事業を進めております。この事業を支えているのが、平成15年に発足したボランティア団体「荒川バラの会」です。現在80名の会員が、三ノ輪橋や町屋駅前、荒川遊園の周辺など5つの班に分かれて花壇などの手入れを行っており、毎年、バラの市の会場では、バラの販売や品種の説明などで活躍していただいております。